科目名	視覚情報伝達論Ａ		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2021 年度 後期	単位数	2
担当教員	小岩　勉		
内容および計画	写真は、撮ることによって自分の目線ともう一度出会う行為だと考える。目の前にあるもの、事、あるいは空間を撮っていくことによって、自分自身と世界の関係に気付き、それぞれの内面から生まれる表現へとつなげていきたい。表現の最も身近な方法に「言葉」があるが、本授業では、写真の撮影結果に対するディスカッションであえて言葉を多用しながら「言葉」に代わる表現、「言葉」に従属しない表現を模索する。また、撮影した写真を自分でセレクト・構成し、写真集に製本することによって単写真の持つ「意味」を解体・再構成することを体験する。		
1	本授業の概要説明。機材の指定。撮影対象の指示。木村伊兵衛の写真をみる。		
2	撮影した写真をもとにディスカッション。次回までの撮影指示。牛腸茂雄の写真をみる。		
3	撮影した写真をもとにディスカッション。次回までの撮影指示。ヴィヴィアンマイヤーのドキュメンタリーをみる。		
4	撮影した写真のコピーを使用して、写真集の構成。次回までの作業指示。		
5	構成した写真を使用して、ダミー本を作る。次回までの作業指示。		
6	ダミー本をもとに写真集を作る。		
7	合評		
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年

参考書	

成績評価

評価方法	割合(%)
出席状況	40
作品	60

学習到達目標	写真集の制作を通して、視覚という情報の「取捨選択」を体験し、伝達の複雑さを知り、実践に生かす。

先修条件	
実務経験	
その他	デジタルカメラ又は 35mm フィルムカメラを用意できること。(スマートフォン可) プリント代等は自己負担。